

3学年だより
NO 558

飛翔

令和2年12月14日

小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

明日、模擬試験… 志望する公立高校ごとの目標とする 偏差値を確認しよう。

模試などのテストを受けると偏差値がついてきます。テストの得点分布の真ん中だと偏差値は50となります。偏差値50は、ちょうどそのテストを受けた人の真ん中ぐらいの位置ということになります。公立高校の入試問題はすべての公立高校で同じです。なのでA高校の平均点とB高校の平均点は異なります。そこでこのテストの偏差値いくつなら合格ラインなのかを偏差値で知っておくと模試を受けるときの目標となります。偏差値は、テストの得点分布のどのぐらいの位置で良いかを示します。例えば、新教育の模試で小田原高校は合格率60%ラインが偏差値64となっています。小田原高校をめざしている生徒は、新教育の模試で、偏差値が64に届けば合格ラインということになります。このように、自分の受ける高校の偏差値のラインを知っておくと明日の模試が一つの進路に関する資料として分析できます。平均値が75点で自分が75点の結果だと偏差値は50くらいだとおもいます。しかし、平均点が45点で、自分の得点が70点であるなら偏差値は60を超えてくると思います。このように、偏差値で比較しないと自分の学力と他者とを正しく把握することはできません。

明日のテストを受けるにあたって、自分の志望する高校の合格ラインの偏差値を知りたい人は担任の先生に聞いてください。先生方は新教育から資料を受け取っているので調べてあげます。また、明日のテストは解答はすべての教科でマークシート形式となります。HB以上の鉛筆を用意して、マークシートの解答方法にも慣れておきましょう。